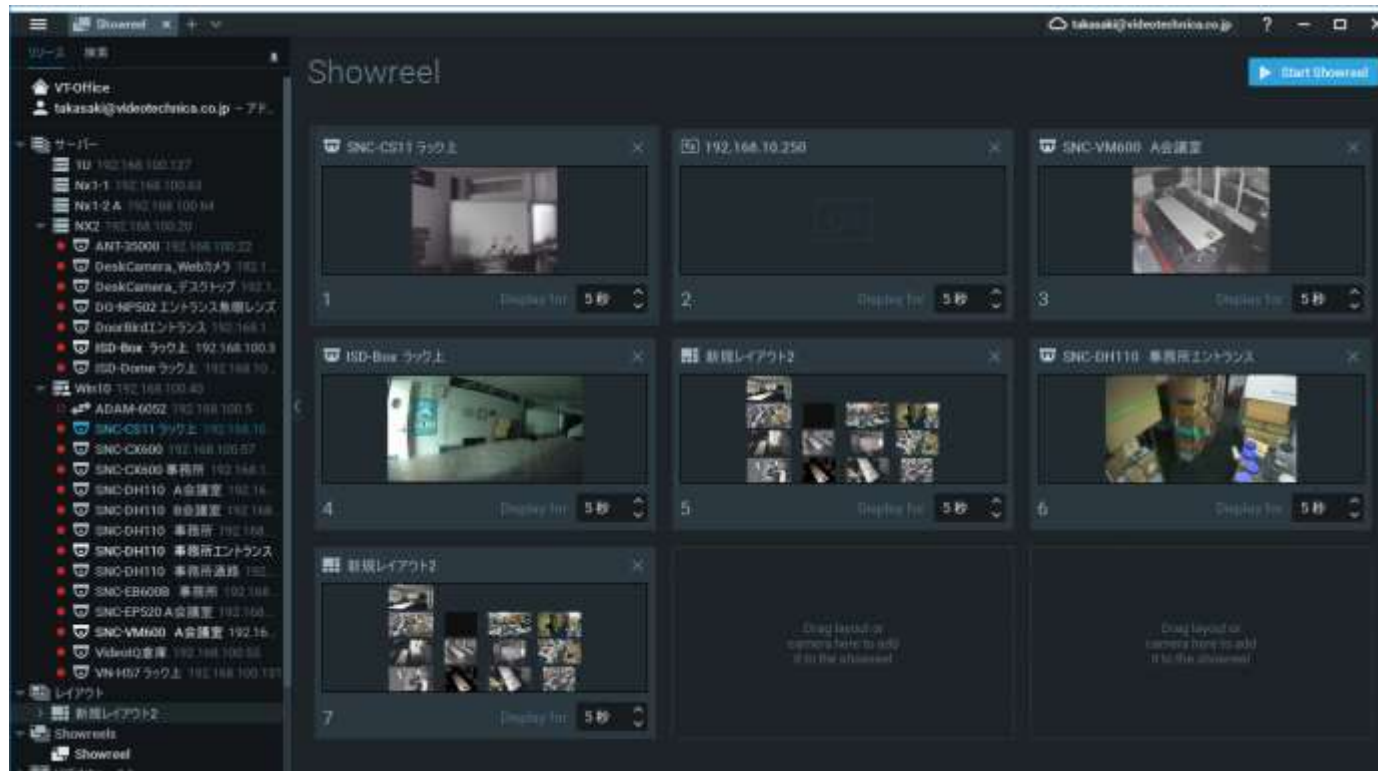


# V3.1 新機能紹介

# シーケンス表示

- 任意のリソース（カメラ、レイアウト、Webページ、オフラインファイル、さらにはヘルスマニタ）を使用して、カスタマイズ可能な表示切替シーケンスを作成します



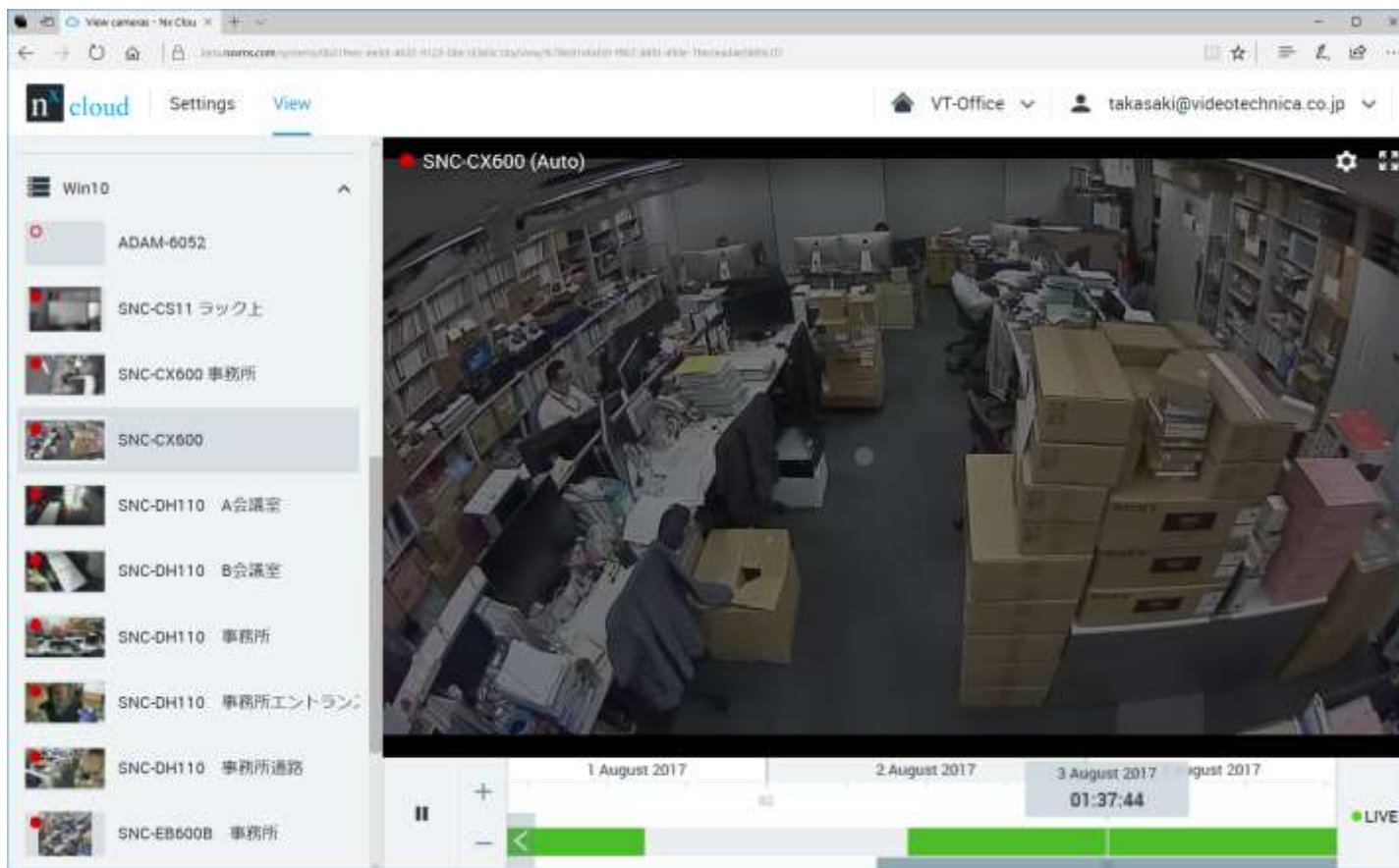
# ソフトトリガー

- カメラタイトル中に表示されるシンボルをクリックしてイベントを生成します。



# クラウドクライアント

- Nxクラウドポータル画面でライブ、再生映像表示が可能
- 今までのWebクライアントと同じ操作が可能



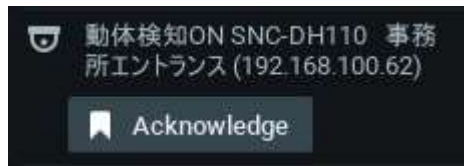
# イベント発生時のブックマーク記録

- イベント時の通知表示で確認操作を要求し、ブックマークにも記録を残す

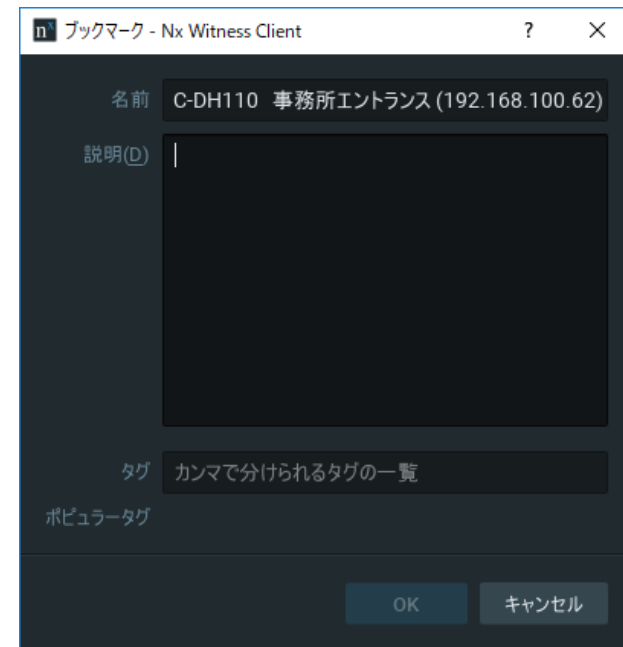
イベントルール作成時に”Force Acknowledgement”を選択



イベント発生時に下画面が表示される



Acknowledgeボタンをクリック



説明欄に入力するまでクリアできません

# H.265サポート

- H.264の後続フォーマット
- H.264と比較して約2倍の圧縮性能を有する
- H.264と比較してデコードの負荷も高くなる

# クラウドデータプロキシ

(V3.0でクラウド接続出来なかった環境でも接続出来る可能性があります)

- ネットワーク環境でNATトラバーサルが使用できない場合に、クラウド経由でクライアントとサーバー間の接続を行います。
- ルーター環境が「Symmetric NAT」の場合でも、システムが「使用不可」と表示されている場合でも、以下の4つの要件を満たしていればNx Cloudが使用できます。

- NxクラウドサービスのHTTPポートは、サーバーとクライアントPC（ポート80、nxvms.com）から利用可能
- Nxクラウドサービスのhttpsポートは、サーバーとクライアントPC（ポート443、nxvms.com）から利用可能
- NxクラウドサービスのSTUNポートは、TCPおよびUDP接続（ポート3345、nxvms.com）用にサーバーおよびクライアントPCから利用可能
- 逆接続はファイアウォールで許可されている

# Symmetric NATとは

- LAN側のIPアドレス：Port番号とNAT変換されるWAN側のIPアドレス：Port番号が1対1に対応し、WAN側の宛先毎に変換されるport番号が変わる。
  - \*LAN側の端末A(192.168.1.1,port1000)がWAN側の端末B(10.10.10.1,port80)に対してパケットを送信する際にはNAT変換されたIPアドレスとPort番号は(仮10.10.10.100,port1000)となるが、LAN側の端末A(192.168.1.1,port1000)がWAN側の端末C(10.10.10.2,port80)に対してパケットを送信する際にはNAT変換されたIPアドレスとPort番号は(仮10.10.10.100,port1001)となる。より具体的には宛先Bのport80とport20に対してパケットを送信した場合にも同様に変換される際のポート番号が変わることになる